

携帯電話を楽しく使おう

あなたの中学校のPTA 会長 お名前

皆さん中学生になって、携帯電話を持つようになった人も多いと思います。携帯電話は便利なものですが、楽しく使っていくためにはルールがあるはず。相手のことを考える、自分のやるべきことをきちんとやる、携帯電話を使っていく上で考えなければいけないことをまとめました。もう携帯電話を持っているあなたも、まだ持っていないあなたも、携帯電話の使い方をよく考えてください。

1. メールのマナー

朝早くや深夜は緊急事態 (メールは受け取る人の立場に立って)

「なんだか眠れない。そうだ、友達は何してるかな…メールでも送ってみようかな。」

ちょっとまって、今何時ですか？朝早くや深夜に携帯電話の着信音が鳴ったら、それは緊急事態！家族が急病に？事故？みんな心配します。眠れないのはあなただけ。メールは時間を考えて送りましょう。

返事を強要しない

「今何してる？」とメールして、すぐに返信がこない。『私って無視されてる？』

そんなふうに思うあなた、いい加減にしないよ。相手の立場をちゃんと考えてメールを送りましたか？友達は勉強しているのかもしれないし、家族でご飯を食べているかもしれない、あるいはお風呂に入っているのかもしれない。返信を強要するのは自分勝手なこと。特に先輩から後輩へのメールは要注意。返信を次の日まで待つ心の余裕は、あなたの優しさです。



返事があぐに返ってこないのはあたいまゑだよ。
明日まで待つね。

返信は都合のよいときに

携帯が鳴って「あ、メールだ！」って。ちょっとまって。あなたは今何をしているところ？勉強ですか、それとも家族でご飯を食べている？

「一人だけ勝手なことをしない」

「周囲に迷惑をかけない」

「やるべきことを済ませる」

を守って返信しましょう。食事中や勉強中は、メールに気をとられてはいけません。必要に応じてマナーモードにする、電源を切るなどを心がけましょう。

緊急連絡はお互いに電話で知らせましょう。

こんな時間になんだろう。事故？急病？



今やらなければいけないことは終わらせて！

勉強中

入浴中

食事中



2. 写真は写っている人の許可をもらおう

写っている人は知ってます？

写真は、勝手に他の人にメールしたりしないよね。

友達と楽しく写した写真、ブログに載せてみんなに見てもらおうかな。ちょっと待って！友達はブログに載せること知ってます？学校名や名前まで載せちゃったら。写真をほかの人に見せる(=メールで送る、ブログに掲載など)なら、写っている人に許可をもらいましょう。そして、学校名や名前など個人情報をむやみに掲示してはいけません。あなたがどんな人物でどこの学校に通っているのか、あなたの知らない人に教えることになってしまいますからね。突然知らない人からメールが届いたり、家に電話がかかってきたり、お金を請求する手紙が来たら困りますよね。



3. 料金は自分で管理しよう

あなたの携帯電話の料金プランはどうなってます？

携帯電話の使用料、通話料・メールの料金・着うたダウンロードの料金・Web表示の料金がどのような契約になっているか、あなたはわかっていますか？親がお金を払ってくれるから知らないじゃ困ります。自分の携帯電話の料金プランを覚えておきましょう。

利用の仕方	料金計算の基本	割引内容 自分の割引内容を確認しましょう。	契約内容確認のチェックポイント (自分の契約がどうなっているか)
電話	通話した時間×単価 例 60分×20円=1,200円など	基本料金を無料通話分30分を含む、登録番号への電話は3割引きなど	<input type="checkbox"/> 基本料金に含まれる無料通話時間 <input type="checkbox"/> 超過した時の1分当たりの料金
メール ダウンロード Web表示	送受信したデータの packets 数×単価 例 15,000 packets×1円=15,000円など <参考>(大まかな目安) 各社1 packets は128バイト程度 これは、日本語約50文字。20kバイトの写真を受信したら、200 packets くらいになります。	○ packets 定額制 送受信 packets 数に関係なく一定の料金 ○ packets 割引 10,000 packets まで基本料金に含まれ、それを超えた分から1 packets ×0.5円など	<input type="checkbox"/> 定額制になっている？ 違ったら次も注意 <input type="checkbox"/> 基本料金に含まれる packets 数 <input type="checkbox"/> 超過後の1 packets あたりの料金

※着うたダウンロードなどはサービス利用料が別途加算されるので注意が必要。月会費などは退会しなければずっと請求されてしまいます。

4. 不安になったら相談しよう

怖い内容のメールやチェーンメールが届いた

一日に何通もメールが届く、メールに「殺す」などの怖い言葉がある、お金を請求する内容など怖いメールが届くようになったら、すぐに家族の人や先生に相談するよう話しましょう。一人で怖い思いをすることはありません。自分にその心当たりがあっても、大人の人に相談することが大切だと教えましょう。「このメールをできるだけ多くの友達に送ってください」「24時間以内に10人に送らなければ不幸なことが起こります」など、メールをたくさんの人に送るように要求するメールをチェーンメールと言いますね。このようなメールが届いたら、どんな内容でも勇気をもって止めるよう教えましょう。

チェーンメールの見分け方

もらったメールが「子犬の引き取り先を探しています」「募金をお願いします」などの内容だったら、まずそのメールを送ってきた相手に確かめましょう。「あなたは誰からこのメールをもらったの？」とさりげなく聞いてみましょう。その人が「私も友達からメールもらって、かわいそうと思ったからみんなに送ったの」と言うように話したら、そのメールは間違いなくチェーンメールです。募金をお願いするメールなら、活動している人の詳しい説明があるはず。もし、「これって本当なの？」と思ったら、大人の人に相談しましょう。



不安に思ったら、すぐに大人の人に相談しましょう。

人に怖いメールを送ることは犯罪です。軽い遊びのつもりでも、もらった相手はとても不安になり、心が傷つきます。